



文部科学省「エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業」
成果報告会資料

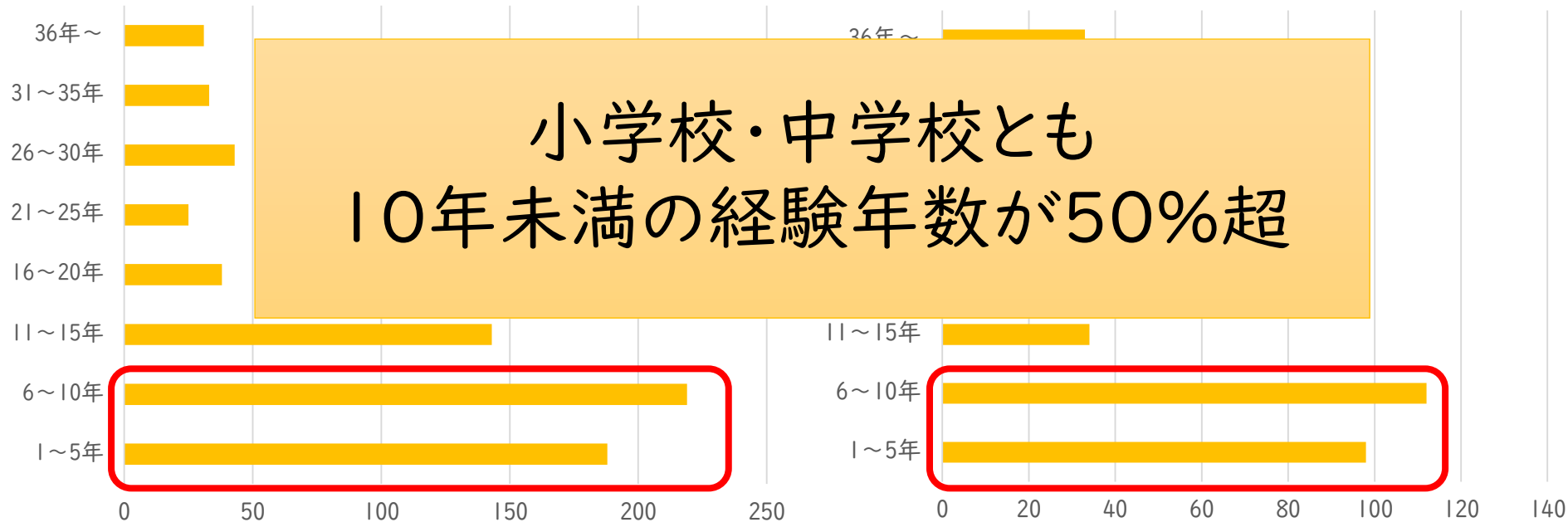
奈良県奈良市の取組発表資料

令和2年3月10日(火)
奈良市教育委員会

1.1. 学校現場の現状

小学校教員の経験年数とその人数

中学校教員の経験年数とその人数



これまで学校現場で行われてきた経験を重視した教育では、
立ち行かなくなっている

経験を重視した教育に加えデータを重視した教育への
転換が必要になっている

1.2. データ活用目的

学び残しの 確実な防止

- 学習記録データの蓄積と整理により一人一人の学習の定着度を「見える化」
- 一人一人の学力定着に向けたカリキュラムを策定

子ども一人一人の学力を保障

問題点・課題 をピンポイント で特定

- 学校、学級、子ども達の状況を定期的にモニタリング
- データを基に注意すべきポイントを早期に発見

早期発見、早期対策に基づく組織的支援

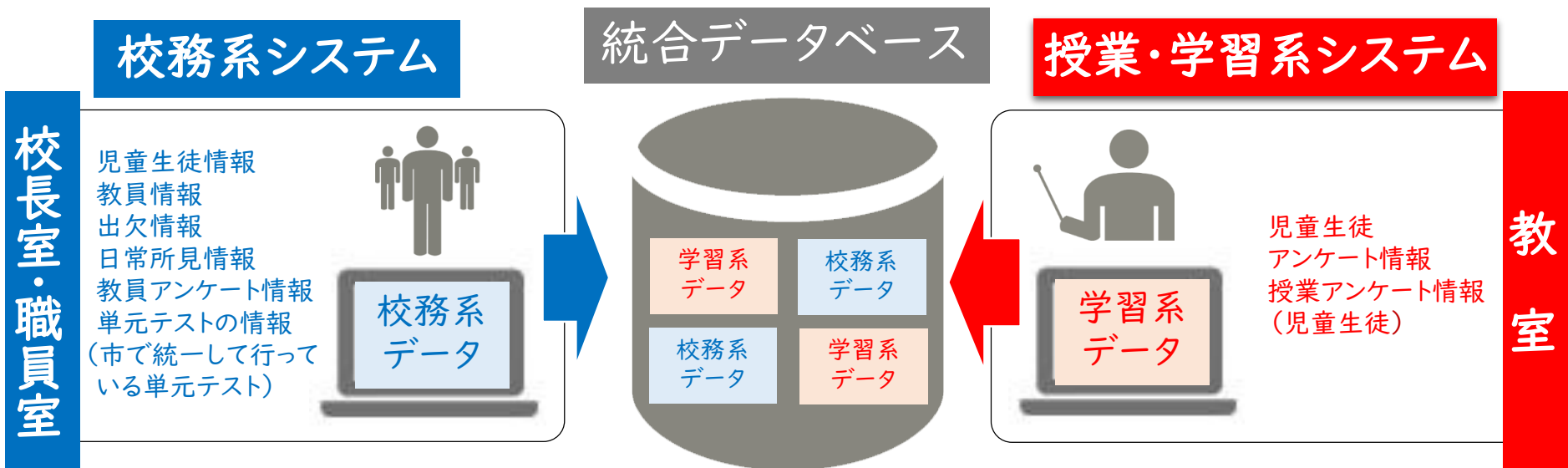
教員集団の 学び合いの 促進と深化

- 思い込みや先入観を廃し、データに基づき客観的に分析
- データに基づき、対話を通じ対応策を検討

教員の指導力向上と学校教育の質向上

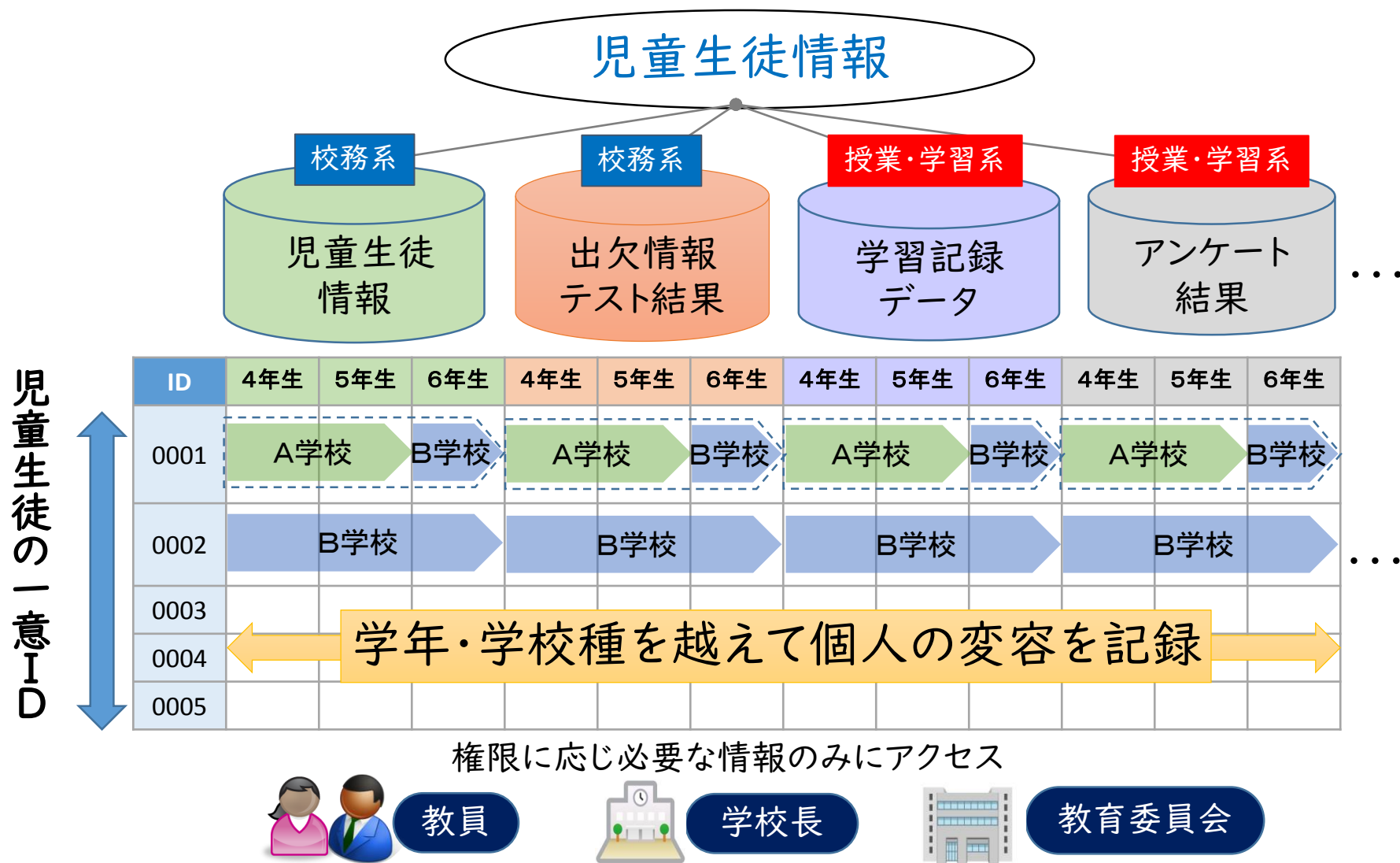
データを活用して教育課題を解決

1.3.データを活用するための仕組み



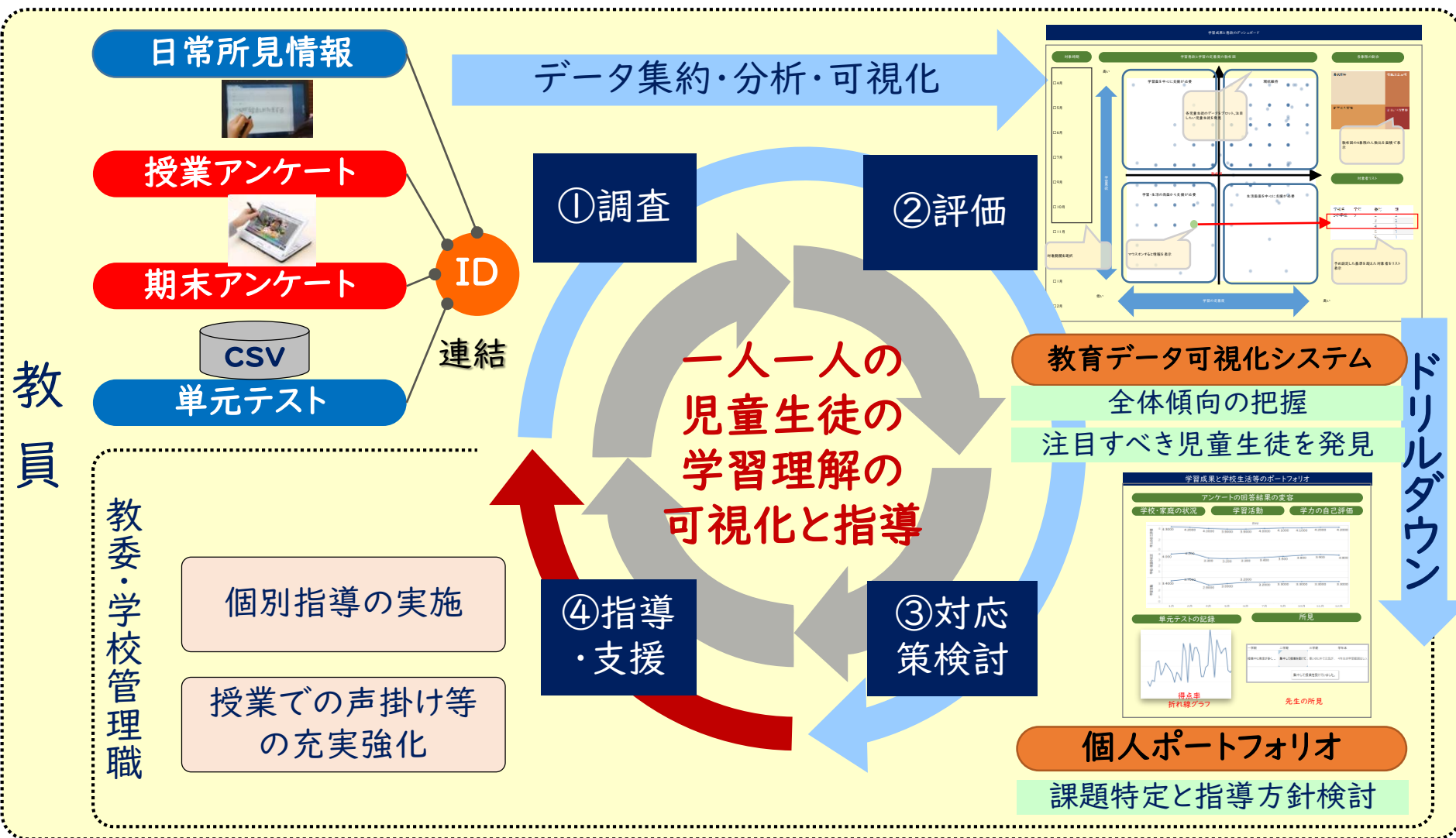
データを可視化し、学校現場に還元

1.4.統合データベースの特長



児童生徒に関わる様々な情報を集約・連結

1.5.データの活用プロセス



プロセスの繰り返しによる活用サイクルを実践

1.6.教育データ可視化システムでの可視化内容



可視化の内容

児童生徒の変容
(事例1で活用)

学校／学級の状況
(事例2で活用)

学校生活の状況

声かけすべき対象
と内容

授業の理解度

学習意欲と成績

実践事例Ⅰ

問題点の早期発見と個に応じた指導

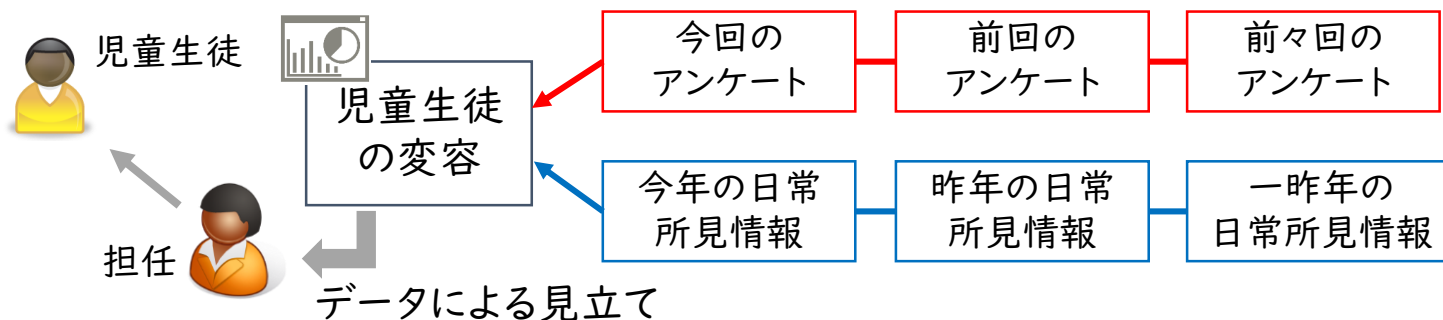
2.1.実践の背景と方針

実践の背景



児童生徒の細かな様子・長期の変化が捉えにくい

データ活用の方針



データを時系列で並べ変容を可視化

変容を捉え、問題点の早期発見と個に応じた指導を実践

2.2.対象とするデータ

対象の校種学年	小学校4年～中学校3年の児童生徒を対象に実施
連携・活用するデータ	日常所見情報 (一人ずつノート) 児童生徒 アンケート結果 児童生徒情報 ・校務系データ ・授業・学習系データ

2.3.児童生徒アンケートについて(1/2)

児童生徒アンケートについて

データ名称	児童生徒アンケート 4件法のアンケート設問
データに関わる背景	・テスト結果だけでは測れない児童生徒の様々な状況をデータ化 ・本事業のために開発したアンケートを使用
データの内容	・4段階の回答数字:32問の回答結果
取得するタイミング	・学期末に1回実施、年3回取得
取得方法	・タブレット端末を使って回答。結果は自動的に集計・データ化

児童生徒4件法のアンケートの設問項目と設問数

家庭生活		3 問
学校生活		3 問
授業評価		7 問
自我意識		2 問
教科等 評価の観点	知識・理解及び技能	4 問
	思考・判断・表現	2 問
	関心・意欲・態度	11 問

2.3.児童生徒アンケートについて(2/2)

項目別 児童生徒アンケート(一部抜粋)

家庭生活	朝食を毎日食べている。
	家の人と学校での出来事について話をする。
学校生活	学校に行くのは楽しい。
	先生はあなたの良いところを認めてくれている。
授業評価	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う。
	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
自我意識	自分には、良いところがあると思う。
	将来の夢や目標を持っている。
知識・理解 及び技能	学習のめあてをつかんでいる。
	算数(数学)の授業の内容は分かりやすい。
思考・判断・表現	自分に意見や考えを説明できる。
	自分の考えや調べたことをまとめることができる。
関心・意欲・態度	学習することが楽しい。
	算数(数学)の勉強は好きだ。

2.4.事例Ⅰのデータ活用の流れ

STEP 1

教育データ可視化
システムの起動

STEP 2

変容の大きい
児童生徒の発見

STEP 3

児童生徒の
詳細状況を確認

STEP 4

データに基づく
指導・助言

2.5.教育データ可視化システムの起動

教育データ可視化
システムの起動

変容の大きい
児童生徒の発見

児童生徒の
詳細状況を確認

データに基づく
指導・助言



お知らせ

ぜひ、こちらより、ダッシュボードへのご意見をお寄せください。

最新情報

最新 5件

スマスク共通ルーム

スマートスクール研修のアンケートの 10/18 09:43

個人情報に関しての 10/16 18:31

文字化けについて(1) 10/17 13:32

10月28日(月) 第2回連絡協議会 10/25 14:32

職員研修の資料に関して 10/16 19:16

キャビネット

アドレス: 小学校

フォルダ作成 ファイル追加 圧縮・ダウンロード 検索する ごみ箱

フォルダ	名前	サイズ	更新者	更新日
小学校	過去フォルダ		市教委管理者	10/11/29 11:28
過去フォルダ	000_全体_シート_3_ver20191004.xlsx	7.5M	市教委管理者	19/10/07 14:09 (11)
	000_全体_シート3 (個別)_ver20190705.zip	1.7M	市教委管理者	19/07/05 15:00 (30)
	000_全体_シート3 (全体)_ver20190708.xlsx	3.7M	市教委管理者	19/07/26 13:13 (20)

スマートスクールのポータル画面
①”キャビネット”に教育データ可視化シ
ステムのリストが表示されている。

教育データ可視化システムのファイルのリ
ンクをクリックすると、教育データ可視化シ
ステムが起動する。

教育データ可視化システム「児童生徒の変容」

2.6.変容の大きい児童生徒の発見

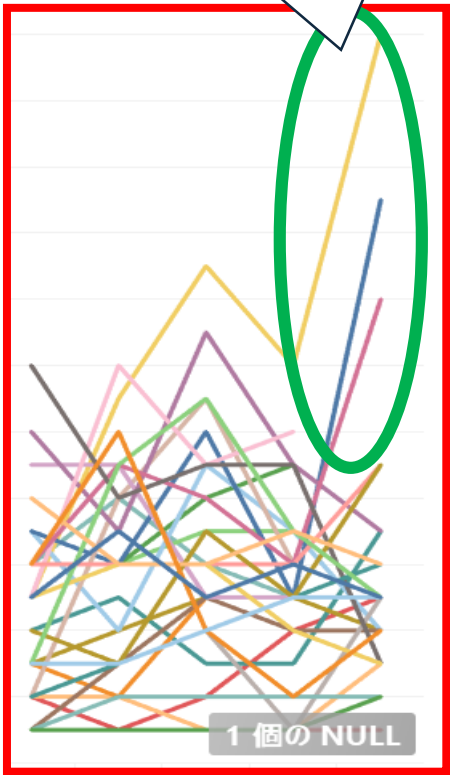
教育データ可視化
システムの起動

変容の大きい
児童生徒の発見

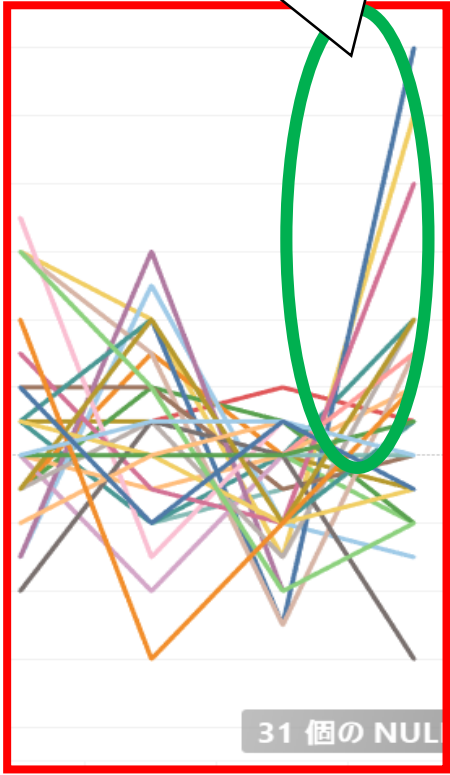
児童生徒の
詳細状況を確認

データに基づく
指導・助言

アンケートで
「1」が多い
児童生徒を発見



今学期アンケートで
「1」が急増した
児童生徒を発見



該当児童のアンケートの
詳細な回答、
日常所見の情報を表示

	30	31
【関心・意欲・態度】設問10. 集中(しゅうちゅう).	2 1 3 4 1	3 3 4
【関心・意欲・態度】設問16. 授業(じゅぎょう)で.	3 1 2 1 2	4 4 4
【関心・意欲・態度】設問17. 国語の勉強(べん..	1 1 1 1 1	2 4 4
【関心・意欲・態度】設問19. 算数(数学)の勉..	4 4 4 4 3	3 1 2
【関心・意欲・態度】設問23. 家で、学校の宿題.	3 3 3 3 3	4 4 4
【関心・意欲・態度】設問24. 家で、学校の授業.	1 1 2 2 2	3 4 4
【関心・意欲・態度】設問25. 家で、学校の授業.	1 1 1 1 2	3 4 4
【学校生活】設問5. 学校に行くのは楽しい	4 3 3 3 2	3 4 3
【学校生活】設問6. 友だちに会うのは楽しい	4 4 2 2 1	4 3 4
【学校生活】設問26. 先生はあなたの良いところ..	3 1 1 1 1	3 4 4
【家庭生活】設問3. 家の人(きょうだいは)ふくみま.	3 3 3 3 1	3 4 4
【家庭生活】設問1. 朝食を毎日食べている	4 4 4 4 4	4 4 4
【自我意識】設問2. 自分には、良いところがある.	4 4 4 4 1	4 4 4
【自我意識】設問7. 将来(しょうらい)の夢や目..	4 2 1 4 1	2 3 2
【授業評価】設問27. 先生は、授業(じゅぎょう)..	2 2 1 1 1	3 2 2
【授業評価】設問33. 授業(じゅぎょう)で扱うあ.	2 3 1 3 1	3 4 4
【授業評価】設問28. 授業(じゅぎょう)では、自..	2 1 1 1 1	1 3 2
【授業評価】設問29. 授業(じゅぎょう)では、学..	3 2 3 1 1	3 4 4
【授業評価】設問30. 授業(じゅぎょう)の中で目..	3 3 1 4 1	2 4 4
【授業評価】設問31. 授業(じゅぎょう)の最後に..	2 3 3 1 1	3 4 4
【授業評価】設問32. 授業(じゅぎょう)の内容が..	3 2 3 1 1	4 4 4
設問21. 学校での授業(じゅぎょう)以外に、普..	4 3 5 6 1	3 3 5

2.7.児童生徒の詳細状況の確認

教育データ可視化
システムの起動

変容の大きい
児童生徒の発見

児童生徒の
詳細状況を確認

データに基づく
指導・助言

左から順に、以下を表示

2018年度1学期
2018年度2学期
2018年度3学期
2019年度1学期
2019年度2学期

時系列に、「|」（オレンジ色）を
付けたアンケート項目を確認

これまでの児童の日常所見の
記録が一覧で表示

					30
【関心・意欲・態度】設問10. 集中(しゅうちゅう)で..	2	1	3	4	1
【関心・意欲・態度】設問16. 授業(じゅぎょう)で..	3	1	2	1	2
【関心・意欲・態度】設問17. 国語の勉強(べん)で..	1	1	1	1	1
【関心・意欲・態度】設問19. 算数(数学)の勉..	4	4	4	4	3
【関心・意欲・態度】設問23. 家で、学校の宿題..	3	3	3	3	3
【関心・意欲・態度】設問24. 家で、学校の授業..	1	1	2	2	2
【関心・意欲・態度】設問25. 家で、学校の授業..	1	1	1	1	2
【学校生活】設問5. 学校に行くのは楽しい	4	3	3	3	2
【学校生活】設問6. 友だちに会うのは楽しい	4	4	2	2	1
【自我意識】設問7. 将来(しょうらい)の夢や目..	4	2	1	4	1
【授業評価】設問27. 先生は、授業(じゅぎょう)で..	2	2	1	1	1
【授業評価】設問33. 授業(じゅぎょう)で扱う(あ)こ..	2	3	1	3	1
【授業評価】設問28. 授業(じゅぎょう)では、自..	2	1	1	1	1
【授業評価】設問29. 授業(じゅぎょう)では、学..	3	2	3	1	1
【授業評価】設問30. 授業(じゅぎょう)の中で目..	3	3	1	4	1

2019年9月1日

掃除の時間に率先して、雑巾がけを頑張ってくれていま
した。

2018年12月3日

友達との言い争いがありました。お互いに勘違いが
あったとの事で、無事に仲直りが出来ました。

2.8.児童生徒の詳細状況の確認(事例)

教育データ可視化
システムの起動

変容の大きい
児童生徒の発見

児童生徒の
詳細状況を確認

データに基づく
指導・助言

「1」が増加した児童の事例

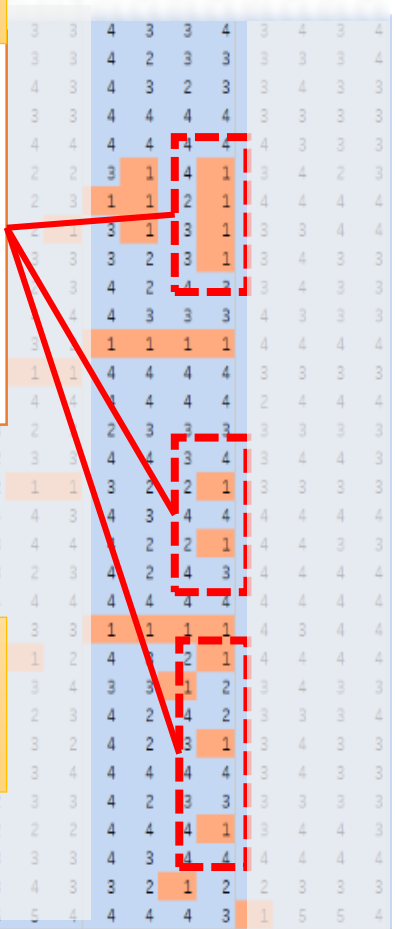
ネガティブに大きな変容が見られた項目(回答値)

- ・学校に行くのは楽しい(1)
- ・進んで授業に参加している(1)
- ・先生はあなたの良いところを認めてくれている(1)
- ・授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う(1)
- ・授業の最後に内容を振り返る活動をよく行っていたと思う(1)

【関心・意欲・態度】設問24. 家で、学校の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)をしていますか
【関心・意欲・態度】設問25. 家で、学校の授業(じゅぎょう)の復習(ふくしゅう)をしていますか
【学校生活】設問5. 学校に行くのは楽しい
【学校生活】設問6. 友だちに会うのは楽しい
【学校生活】設問26. 先生はあなたの良いところを認めて(みとめて)くれている
【家庭生活】設問3. 家の人(きょうだい)はふくみません)と学校での出来事(できごと)について話をしますか
【家庭生活】設問1. 朝食を毎日食べている

授業にしっかりと参加できず、自分の意見を言えていないことが原因ではないだろうか

【授業評価】設問30. 授業(じゅぎょう)の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う
【授業評価】設問31. 授業(じゅぎょう)の最後に学習内容を振り返る(ふりかえる)活動を良く行っていたと思う
【授業評価】設問32. 授業(じゅぎょう)の内容が、黒板に分かりやすくまとめられていると思う
設問21. 学校での授業(じゅぎょう)以外に、書段(ふだん)(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強(べんきょう)をしますか(塾(じゅく)や家庭教師(かていきょうし)を含みます)
設問22. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強(べんきょう)をしますか(塾(じゅく)や家庭教師(かていきょうし)を含みます)



2.9.データに基づいた指導・助言の取組・成果



見取	進級後にネガティブに大きな変容が見られる。 アンケート回答で「1」が11件
仮説	授業にしっかりと参加できず、自分の意見が言えていない
取組	1. 得意意識のある、社会・算数にて発言を促す 2. 休み時間での頑張りに対して、教員から称賛
評価	授業で進んで発言、参加している姿が見られている アンケート回答で「1」が3件（8件改善）

2.10.教育データ可視化システムに対する教員の評価

学年を跨いだ 情報共有

これまで、児童生徒の年度をまたいだ詳細な情報を引き継ぐことは困難だった。本システムでは、前年度のデータもあるため、より細かい情報を基にした指導・支援が可能となった。

分かりやすい 画面構成

教員・市教委・事業者で、教育データ可視化システムを「使う」、「見直す」を何度も繰り返し、シンプルで分かりやすい画面になった。本画面から始めることで、データ活用がより教員に広まった。

変容を捉えた 指導・支援

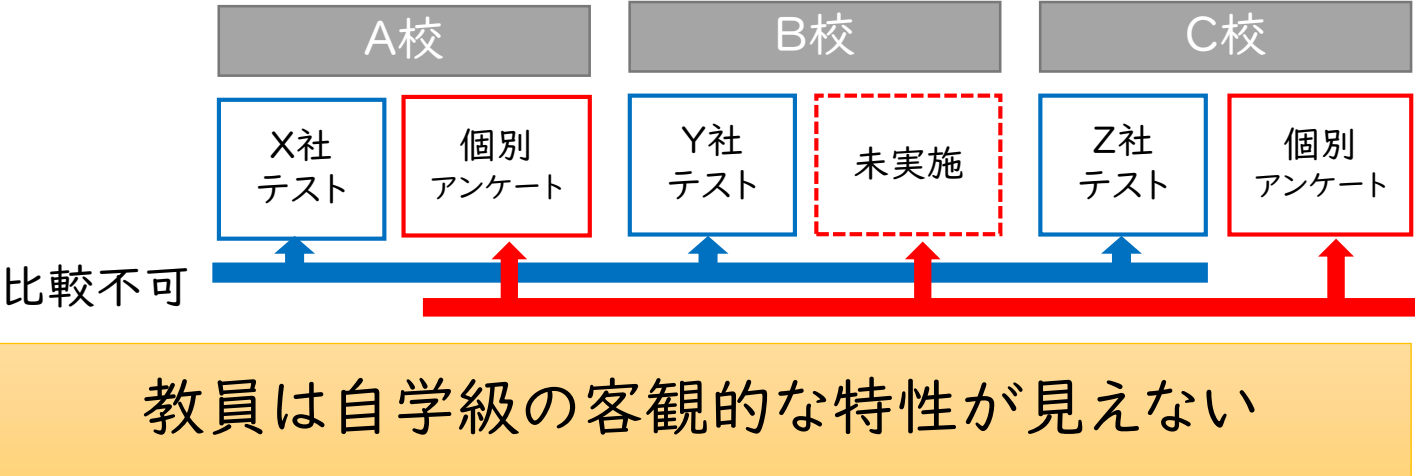
教員の取組に対して、児童生徒の変容が定量的に見えるため、取組自体を評価することができるようになった。

実践事例2

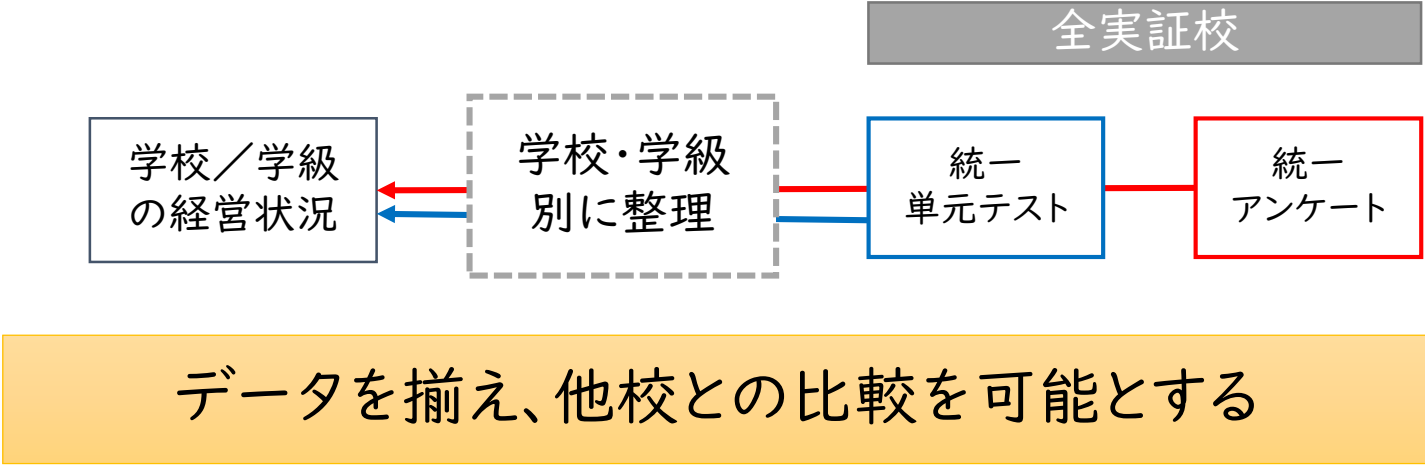
客観的情報を基にした学級運営の実施

3.1.実践の背景と方針

実践の背景



データ活用の方針



客観的情報を基にした学級運営の実施

3.2.対象とするデータ

対象の校種学年	小学校4年～6年の児童を対象に実施
取得タイミング	テスト結果：テスト結果提出期日を統一 児童生徒アンケート結果：学期末に統一
連携・活用するデータ	テスト結果 (全市統一の 単元テスト) 学びなら 児童生徒情報 児童生徒 アンケート結果 ・校務系データ ・授業・学習系データ

3.3.事例2のデータ活用の流れ

STEP 1

教育データ可視化
システムの起動

STEP 2

学級の課題
を発見

STEP 3

学級の
詳細状況を確認

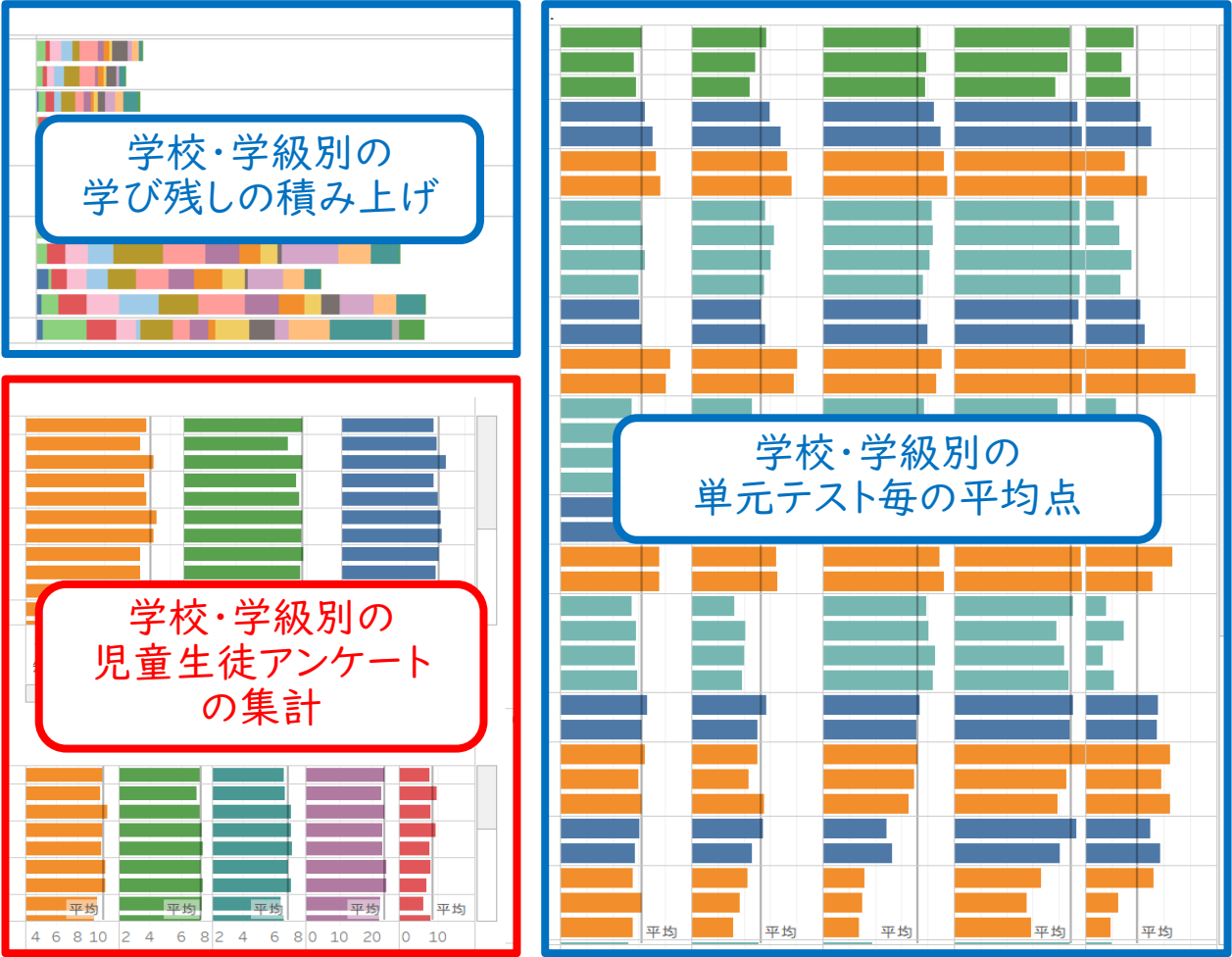
STEP 4

データに基づく
取組

3.4.学級の課題の発見(1/2)



学校、学級全体状況のデータ可視化の画面



3.4.学級の課題の発見(2/2)

教育データ可視化
システムの起動

学級の課題
を発見

学級の
詳細状況を確認

データに基づく
取組

学校・学級別の 学び残しの積み上げ

※ 学校、学年、組ごとに学び残し(テスト結果が50%以下)の児童の人数を単元毎に色を分けて積み上げ

□□小学校 5年生

1組



2組



△△小学校 5年生

1組



2組



3組



他校に比べて4年生時点の
学び残しが多い事を発見

〇〇小学校 5年生

1組



2組



3組



4組



3.5.学級の詳細状況を確認(1/2)

教育データ可視化
システムの起動

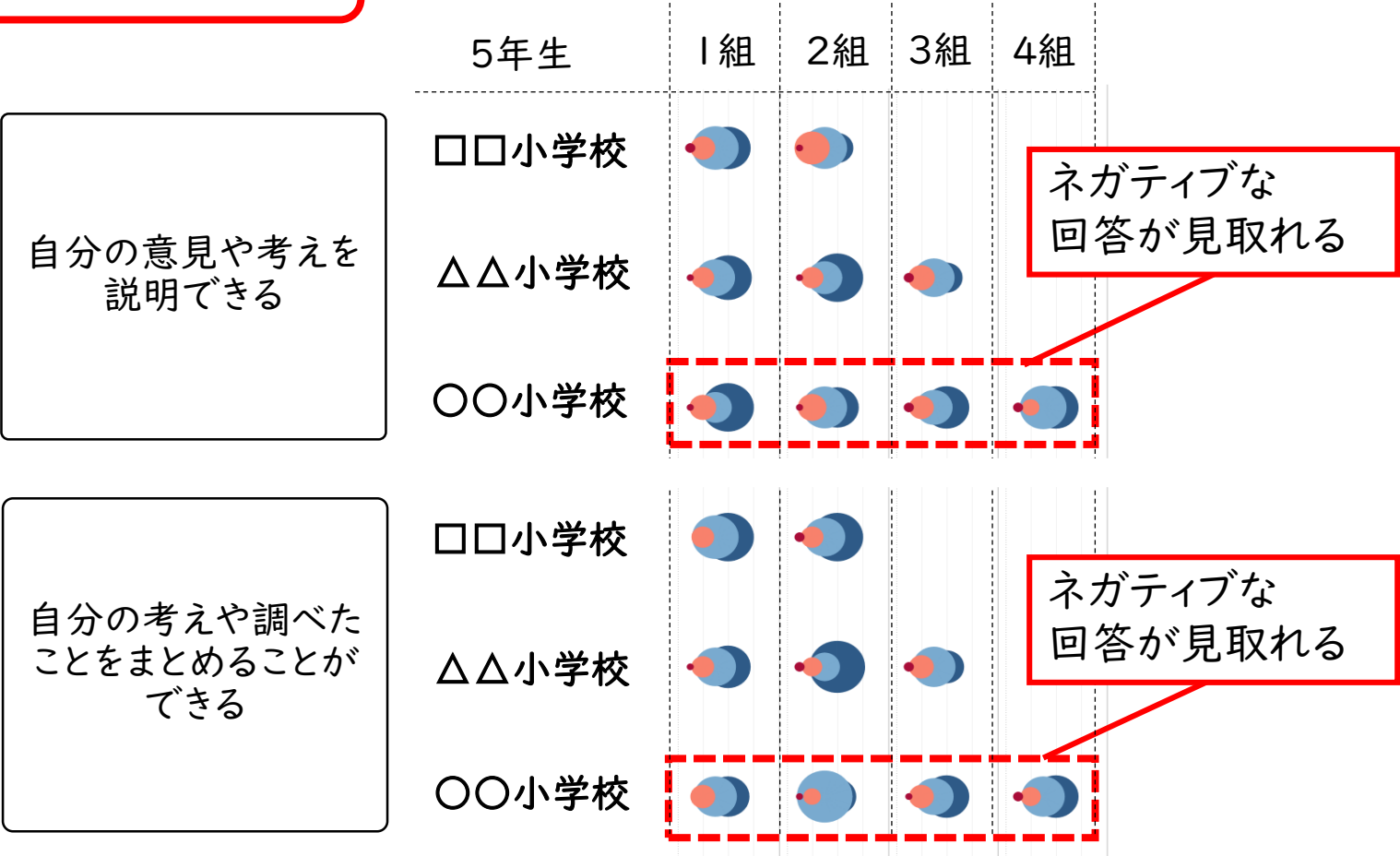
学級の課題
を発見

学級の
詳細状況を確認

データに基づく
取組

児童生徒アンケート 回答分布

【凡例】  (赤) 1 (ピンク) 2 (水色) 3 (青) 4

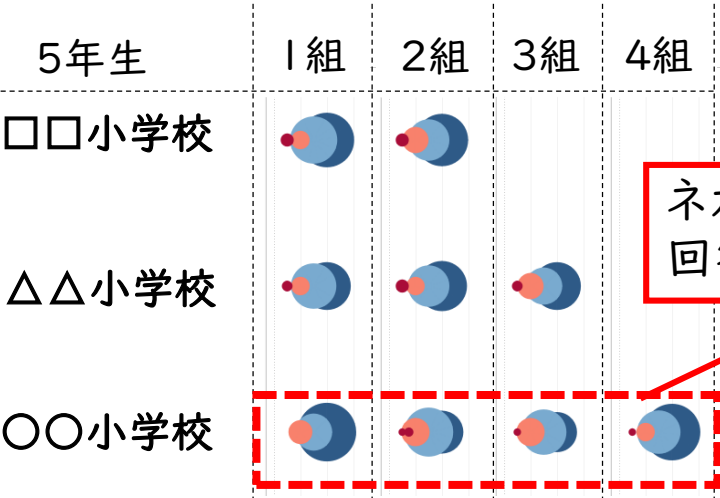


3.5.学級の詳細状況を確認(2/2)



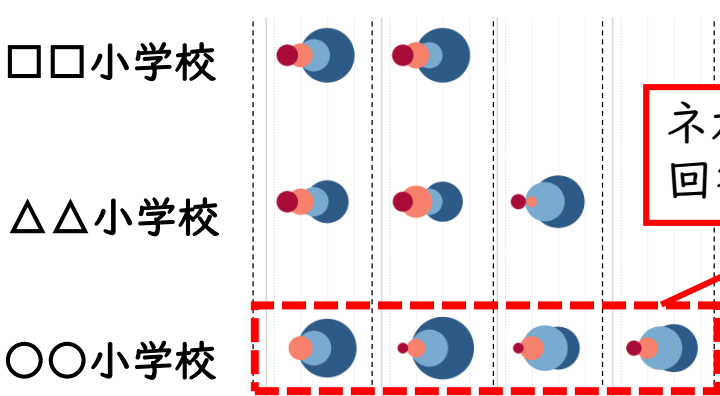
児童生徒アンケート 回答分布

国語の勉強は
好きだ



ネガティブな
回答が見取れる

算数の勉強は
好きだ



ネガティブな
回答が見取れる

3.6.データに基づいた取組・成果

データ可視化
システムの起動

学級の課題
を発見

学級の
詳細状況を確認

データに基づく
取組

見取

1. 前学年での学び残しが他校に比べて多い
2. 学び残しの多い児童は学習意欲も低い

仮説

該当児童がポジティブに学習に取り組むために、
適正な個別の支援が必要

取組

登校後の朝の時間を使い、苦手分野にフォーカスした
個別の学習を実施

評価

宿題を実施してくるようになった
進んで復習プリントを行うことができるようになった

3.7.教育データ可視化システムに対する教員の評価

客観的な
学級状況の
把握

昨年度のデータがあることで、年度当初から児童の実態に即した学年経営方針を立てることができた。

つまずき箇所
の把握

つまずきを正確に把握することができ、
重点を定めて復習を行うことができている。

個別の支援においては、学習内容をさかの
ぼった学習プリントが作りやすい。